

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市沖野老人福祉センター
2	指定管理者	社会福祉法人仙台市社会事業協会
3	指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 人（前年度比 ○○%） 令和元年度 35,836人（前年度比95.5%） 平成30年度 37,536人（前年度比98.1%） 平成29年度 38,282人（前年度比100.9%）</p> <p>《事業》 趣味の教室（11教室）、映画上映会（12回）、心身スッキリ体操（36回）、脳いきいきクラブ（24回）、将棋大会（2回）、衛生講話（3回）、無料行政手続相談会（6回）、介護保険教室（2回）、七夕飾り製作（1回）、夏まつり（1回）、消防訓練（2回）、健康マージャン交流大会（1回）、沖野東小 夏休み作品展示（1回）、豊齢を祝う会（1回）、卓球大会（1回）、交通安全防犯教室（1回）、新年会（1回）、世代間交流将棋教室（3回）、地域総合防災訓練（2回）、折り紙ボランティア養成講座（11回）、絵手紙講座（1回）、介護予防栄養講座（2回）、終活講座（2回）、歴史講座（1回）、民謡・舞踊・詩吟教室合同発表会（1回）、障害理解サポーター養成講座（1回）</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p>・ 指定管理者に支払った費用 37,504千円 (37,344千円) ()は前年度決算額</p> <p>・ その他市が負担した費用 4,950千円 (729千円)</p> <p>《収入》</p> <p>・ 使用料収入 0千円 (0千円)</p> <p>・ その他収入 0千円 (0千円)</p>
6	利用者の声	<p>《実施状況》 年4回開催の管理運営委員会において各委員との意見交換を行い、提案事項や要望等を反映し、事業運営を行った。</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえで心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	33/33
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、各職員は他の職員の業務状況を把握している。経理処理も書類作成など適正に行われている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定めるとともに職員への周知等、意識啓発も行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、連絡体制や職員の役割分担を予め決めていくなど、対応体制を構築している。	24/24
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な応対と分かりやすい説明を心がけている。 また、毎月のセンターだより発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的にしている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、利用者アンケートを年1回実施してニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に努めている。	28/28

V	施設固有の基準	<p>高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行なっており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。</p> <p>また、利用者の代表者で構成する管理運営委員会を立ち上げ、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりに努め、利用者の意見を取り入れた企画の立案を行っている。</p>	9/9
---	---------	---	-----

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会事業協会）による自己評価》	
<p>施設の目的や基本方針等館内に掲示して利用者に周知し、毎月の事業所会議等で重点目標も含め全職員間で共有した他、朝のミーティングの機会等を利用して都度確認した。</p> <p>施設の運営管理面では、指定管理料の執行状況を適宜確認しながら適正な予算管理に努め、職員間で連携し滞りなく業務にあたった。個人情報保護に関する管理体制の下セキュリティ対策を構築、外部研修等の機会等を通して職員への啓発を行った。事故対策として、事故発生時に報告書を作成して職員間で共有し再発防止に取り組み、年2回利用者も参加し市民センターと合同で防災訓練を実施した。環境行動では仙台市環境行動計画に則った取組みを継続した他、利用者が快適で安全な環境づくりを徹底し設備の保守点検や清掃、植栽等の維持管理に努めた。サービスの質の向上に向け、アンケートや管理運営委員会等を通して利用者ニーズを把握し、日常のコミュニケーションからも課題等抽出して事業に反映するよう意識して取組んだ。外部研修会に積極的に参加、伝達研修や復命書で共有し職員のスキルアップに努めた。地域福祉の課題について、町内会や近隣の小中学校、関係機関等と連携して情報共有し、高齢者のみならず多角的に地域福祉に寄与できるよう取組んだ。広報活動では、月1回発行する広報誌「センターだより」を町内会や近隣の商店、関係機関に配布し、ホームページにセンターのブログを定期掲載して企画事業等のPRに努めた。</p>	

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和元年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>介護保険教室、介護予防体操、介護予防栄養講座など、介護や介護予防に関する取り組みを積極的に行っている。また、地域包括支援センターと障害理解サポーター養成講座を共同開催するなどの施設間交流、また市民センターと共同開催した折り紙ボランティア養成講座や将棋教室等、利用者の世代間交流といった複層的な施設運営にも取り組んでいる。</p> <p>年4回開催する管理運営委員会にて各委員と意見交換を行い、提案事項や要望を事業運営に反映させるなど、利用者主体の施設運営に努めるとともに、ボランティア活動の啓発にも意欲的である。</p> <p>そのほか終活講座や歴史講座など、新たなニーズに応じた運営の改善にも取り組んでおり、総合的に高く評価できる。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保健高齢部高齢企画課